

標題 島根県オリジナルメロン「ゴールデンパール」出荷反省会が開催されました

(ダイジェスト)

本年度のゴールデンパールの出荷が終了したことから出荷反省会が開催され、栽培や出荷、積極的に行った知名度向上の取組みの結果が報告されました。来年度に向けて課題を共有することができたので、今後も関係機関と連携しながら品質向上等に取り組んでいきます。

9月18日にゴールデンパールの出荷反省会が開催されました。本年は7月5日から出荷を開始し、例年よりも遅い8月20日に出荷終了しました。

栽培については、本年から松江市のスマート農業導入支援事業を活用して環境制御システムを一部のハウスに導入し、適切な生育環境の把握に努めました。普及部は蒸し込み時期や温度管理を集中的に指導しました。結果として定植時期によってギフト品率にばらつきがあったものの、糖度や味の面では例年以上に品質の高いメロンを出荷することができました。

販売については、本年度は知名度向上を目的とした3つの活動を行いました。

- ①広島市内のスーパーでの対面販売
- ②アグリフードEXPO東京2019への出展
- ③SNSを活用した栽培状況の発信

対面販売や商談会では、試食を配布しながらゴールデンパールの特徴や栽培にかける想いを伝え、多くの方から高評価を頂きました。また、商談会ではSNSで発信した栽培の写真を使い、播種から出荷までの様子を普及部がまとめてタブレット端末で展示したところ、多くの来場者に興味を持ってもらい、想定以上の商談につなげることが出来ました。

来年度に向けて、ギフト品率を向上させるための定植時期の検討や管理の徹底、販売面では商談会等への出展継続、知名度向上に繋げるイベントの開催や規格外品を活用した商品開発に取り組む考えです。普及部としては、今後も関係機関と連携して生産者の取組みを支援していきます。



【左写真】

アグリフードEXPO東京で  
出展したブース

【右写真】

出荷反省会の様子